

# 医療法人社団親和会 衛藤病院(増築)

No. 06-001-2014更新  
改修・保存  
病院

発注者	医療法人社団 親和会	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	熊谷組首都圏一級建築士事務所	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社熊谷組 九州支店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

## 療養環境を向上させる設計が、そのままCASBEE評価の向上につながった精神科病院

### 環境配慮概要

計画地は、小高い丘の上であり、樹木に囲まれ、すばらしい眺望と自然光が享受できる環境にあります。こうした豊かな自然環境を、病院内の療養環境向上にいかに取り入れるかが、設計の大きなテーマとなりました。

建物外周には安全の為にバルコニーを計画し、鉄格子のない大きな窓をもつことにより、豊かな自然光と、眺望を得ることが可能となり、従来の精神科病院にありがちな暗く閉鎖的なイメージを払拭しました。バルコニーは、非常時の避難動線となるだけでなく、外壁の汚れ防止とメンテナンス性の向上、さらに室内への日射負荷の低減を果たしています。

また大きな光庭を2箇所計画した為、建物内側からも豊かな自然採光・通風が確保できますが、これはCASBEE評価項目「室内環境」のポイント向上につながっています。さらに個室10㎡/床・多床室8㎡/床以上の病室面積の確保や、高い天井（階高）によるゆとりある室内環境も、CASBEE評価項目「サービス性能」の向上につながっています。

このように明るく開放的でゆとりある内部空間、安全の確保という病院の環境向上にとって重要な要素を取り入れた設計が、結果としてはCASBEE評価の向上につながり、環境負荷低減及びサステナブル性へも大きく寄与することが可能となりました。



南側外観（庇としてのバルコニー設置）



北側外観（敷地周辺は、緑豊かな環境）

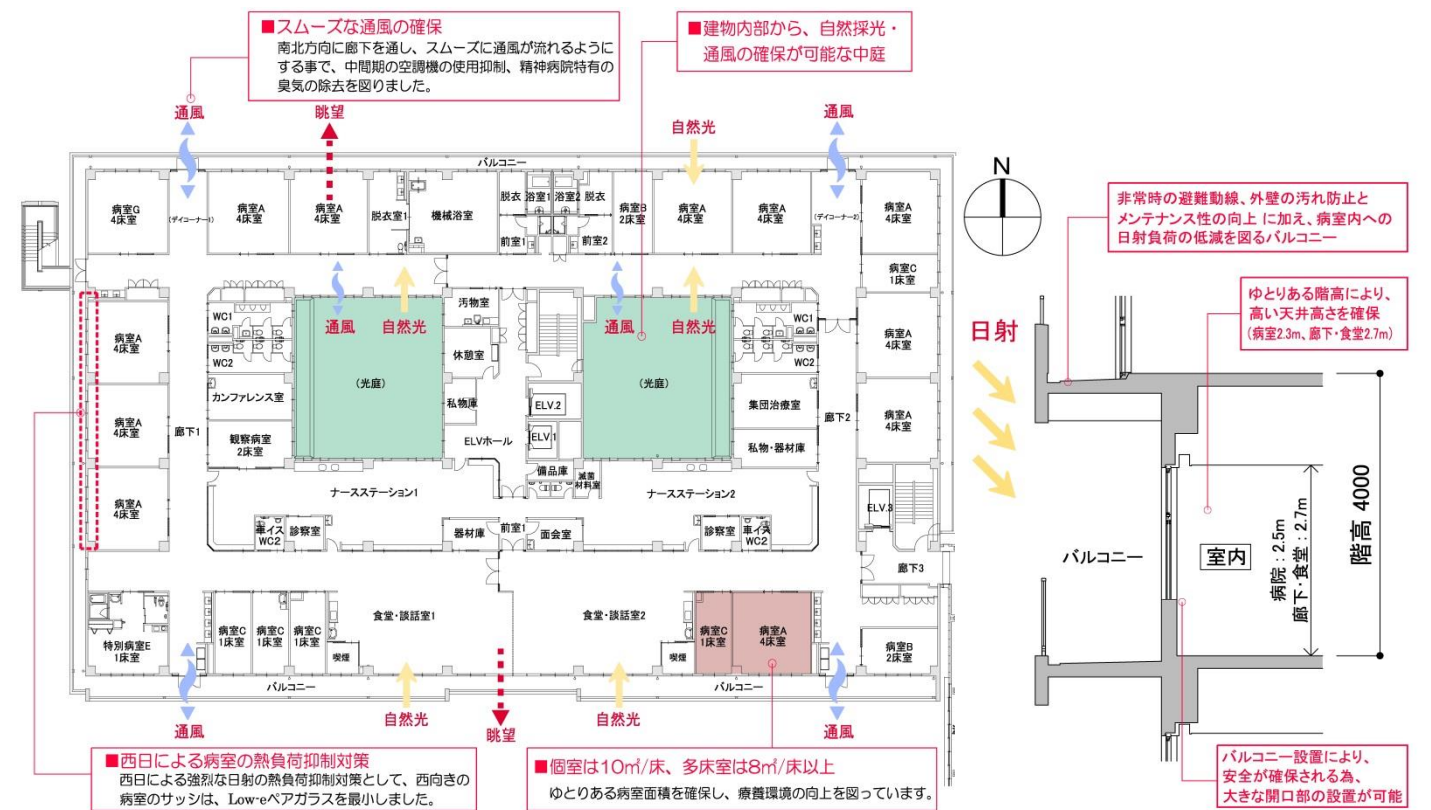


待合ロビー（トップライトにて自然採光を確保）

建物データ	所在地 大分県大分市	省エネルギー性能	ERR (CASBEE準拠) 38%	CASBEE評価	Aランク BEE=1.8 2006年度版 自己評価
竣工年	2010年				
敷地面積	14,376㎡				
延床面積	8,647㎡ (増築部)				
構造	RC造 (増築部)				
階数	地上5階				

### サステナブル採用技術 (CASBEE準拠) と療養環境向上項目

- ①対応性・更新性：階高はゆとりある4mを基準とし、外壁以外の耐力壁の割合を示す「壁長さ比率」も0.1以下と低く、将来機能の変更に柔軟に対応できる計画としました。階高のゆとりは、天井高さのゆとり（病室2.5m、廊下2.7m）にもつながっています。
- ②建物の熱負荷抑制：各階に巡らしたバルコニーは、日射遮蔽の庇代わりにもなり、また西側に面した病室はLow-eペアガラスサッシの採用により、病室への熱負荷抑制が可能となり、療養環境向上を図っています。
- ③自然エネルギー利用：光庭の設置や、廊下の配置の工夫により、自然採光・換気が十分に確保できる計画としました。待合ロビーは、トップライトを設け、明るい自然光を取り入れる事で、療養環境の向上につながっています。
- ④その他：病室は個室は10㎡、多床室は8㎡/床以上確保し、ゆとりがあり、看護もしやすい「サービス性能」の高い療養環境となっています。また、医療ゴミや、可燃・不燃ゴミをそれぞれ分別できるゴミ置場を設置し、「地球環境に配慮」をしています。



病棟平面図

バルコニー断面図

### 既存建物躯体の再利用 (非再生性資源の使用量削減 CASBEE評価項目LR2.2準拠)

増築部分は、既存建物を撤去した跡地に建設しています。今回既存を撤去する際に排出されるコンクリート廃棄物処理の方法として、破碎機を用い、細かく粉砕しました。それを、今回工事の外構路面等の下地用の破石として再利用しています。



設計担当者 建築(意匠)：西原 孝宣 構造：濱田 弘行 設備：新井 勘 電気：草野 昭

### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 3. 対応性・更新性 (階高、空間のゆとり。模様替えの容易さ)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (一部高性能ガラスの使用)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自然換気、自然採光)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (ERRの向上)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (既存躯体利用)
- LR3. 2. 地球環境への配慮 (廃棄物処理)